

地質調査所報告 第七十八號



歐羅巴特ニ  
佛獨ニ於ケル  
大戦後ノ鐵及石炭

岡村要藏氏



歐羅巴特ニ佛獨ニ於ケル大戰後ノ鐵及石炭

歐羅巴特ニ佛獨ニ於ケル大戰後ノ鐵及石炭

目次

大戰爭ノ經過	一頁
普、佛戰爭前後ニ於ケル英、佛、獨ノ鐵及石炭埋藏量ノ	
比較ト獨逸ノ勃興	三頁
大戰中獨逸ノ占領シ講和後喪失スヘキ鑛產地	八頁
波蘭ノ復興	一頁
講和前及講和後ノ白耳義	一四頁
講和前ノ獨逸	一七頁
講和後ノ獨逸	一九頁
講和前及講和後ノ佛蘭西	二三頁

	「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊ト石炭トノ關係……………	二七頁
一	大戰前及大戰中ニ於ケル英、佛、白、伊、獨ノ石炭……………	二七頁
二	大戰前及大戰中ニ於ケル「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊……………	三四頁
三	講和後ニ於ケル英、獨、佛、白ノ石炭……………	三八頁
四	講和後ニ於ケル「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊……………	四一頁
五	「ロレーン」鐵鑛ト石炭トノ關係……………	四六頁
結 論	……………	四九頁

# 歐羅巴特ニ佛獨ニ於ケル大戰後ノ鐵及石炭

農商務技師 地質調査所長 理學博士 井上禧之助

本編ノ通讀ニハ地質調査所報告第五十三號世界ニ於ケル鐵鑛并ニ石炭ノ分布及供給如何、第七十號歐洲戰場ニ於ケル鑛產地領有ノ戰局ニ及ホセル影響、第七十一號地質調査事業ト歐洲西部戰場ヲ參照アラシムコトヲ望ム

## 大戰爭ノ經過

曩ニ地質調査所報告第七十號ニ於テ大戰爭ノ經過ニ就テ記スルトコロアリタリ、即チ千九百十四年八月大戰爭ノ勃發スルヤ獨逸ハ西方佛蘭西ヲ壓シ、佛蘭西「ロレーン」ノ鐵鑛地ヲ領有シテ該地域ノ鐵鑛ヲ採掘シ、白耳義ノ大部及佛蘭西ノ北東部ヲ占領シテ自國ニ接セル大炭田ヲ

收メタリ、更ニ目ヲ東部戰場ニ轉スレハ、波蘭ノ大部ハ既ニ獨逸ノ領域ニ入りテ豐富ナル石炭ト鐵鑛トハ露西亞ノ有タラス、開戰二年ニシテ羅馬尼ノ大部亦其侵ストコロトナリ、年額千餘萬「バーレル」ノ石油ハ獨逸ノ使用ニ委セラル、ニ至レリ、越エテ三年露西亞ハ擾亂ノ巷ニ化シテ「バク」油田、「ドネツ」炭田、「クリウオイ」ロツグ、「ケルチュ」鐵鑛地等亦獨逸ノ注視スルトコロトナレリ、若シ夫レ此形勢ニシテ持續センカ、英國ヲ除ケハ事實上歐羅巴ニ於ケル鑛產地ハ全部獨逸ノ支配管理ニ歸スルニ至レルナリ

獨逸ハ此ノ如ク一舉ニシテ白耳義、佛蘭西、露西亞ノ鑛產地ヲ占領シテ必須ノ物資ヲ戰場ニ得、其利便ノ多大ナルニ反シテ佛、露ノ不利ハ名狀スヘカラサルモノアリ、獨逸ノ強大ナリシ所以亦實ニ之ニ因ス、千九百十八年獨逸ハ破レテ休戰トナリ講和ニ屈シテ其壯圖ハ遂ニ收拾スヘカラサルニ至レリ、想フニ「アルサス」、「ローレン」二州ノ割讓、「ザール」盆地ノ佛蘭西ノ管理及波蘭ノ獨立ハ獨逸ニ對シ大ナル打擊タルニ止マ

ラスシテ將來ニ於ケル世界ノ鐵及石炭鑛業ニ大ナル影響ヲ及ホスニ至ルヘシ

### 普、佛戰爭前後ニ於ケル英、佛、獨ノ鐵及石炭

#### 埋藏量ノ比較ト獨逸ノ勃興

獨逸ノ過去五十年間ニ於ケル發達ヲ追想スルニ其天然資源ニ待ツモノ甚タ大ナルモノアリ、茲ニ曩ニ舉ケタルコロヲ綜合シ英、佛、獨ノ普、佛戰爭前後ニ於ケル鐵及石炭ノ埋藏量ヲ比較シ、及獨逸ノ同戰爭後ニ於ケル鐵及石炭鑛業ノ發達ヲ表示セントス

表中一ハ普、佛戰爭(千八百七十年)前各國ニ於テ概算シタル埋藏量ナリ、二ハ現時ノ概算埋藏量ニシテ或ハ普、佛戰爭後新ニ發見シタル鑛床アリ、或ハ再概算ノ結果鑛量ノ増加シタルモノアリ、隨テ其鑛量ハ前者ヨリ遙カニ大ナリトス

鐵埋藏量(鐵鑛ノ品位ニヨリ鐵ニ換算シテ概算シタリ、單位ハ百萬噸ト



ス)

國名	普佛戰爭前		普佛戰爭後	
	一	二	一	二
英	三〇〇 <sup>億</sup>	四五五 <sup>億</sup>	三〇〇 <sup>億</sup>	四五五 <sup>億</sup>
佛	六〇〇	一、八九五	一〇〇	一、一四〇
獨	三四〇	五一五	八四〇	一、二七〇

普佛戰爭前後ニ於テ英國ニハ變化ナケレトモ同戰爭後佛蘭西ハ「ア  
 ルサス」州并ニ「ロレーン」州ノ東部ヲ獨逸ニ割讓シタリ、「ロレーン」州ノ  
 埋藏セル鐵ノ量ハ其當時五億萬噸ト計算セラレ殆ント全部獨逸ノ  
 收ムルトコロトナレリ、何ソ知ラン、爾後佛蘭西領タル「ロレーン」州ニ  
 發見セラレタル鐵ノ埋藏量ハ約十億萬噸ニ上レリ、而シテ獨逸領タ  
 ル「ロレーン」州ニ發見セラレタルモノハ其四分一ニ過キスシテ二億

五千五百萬噸ナリトス、即チ割讓シタル「ロレーン」州ノ鐵埋藏量ハ七億五千五百萬噸ニシテ獨逸ノ敢テ意ニ介セサリシ佛蘭西「ロレーン」州ニ發見セラレタル鐵埋藏量ハ約十億萬噸ニ上リ割讓シタル地域ノ埋藏量ヨリ多シトス

石炭埋藏量(單位百萬噸)

國名	普佛戰爭前		普佛戰爭後	
	獨	佛	獨	佛
英	一、二六、〇〇〇 <sup>噸</sup>	一、八九、五三三 <sup>噸</sup>	一、二六、〇〇〇 <sup>噸</sup>	一、八九、五三三
佛	一、五、〇〇〇	二、二、〇〇〇	一、二、〇〇〇	一、七、五八三
獨	二、七、八、〇〇〇	四、一、八、〇〇〇	二、八、一、〇〇〇	四、二、三、三五六

普、佛戰爭後獨逸ハ佛蘭西ヨリ「アルサス」州并ニ「ロレーン」州ノ東部ヲ割讓セラレ「ザール」炭田ハ全部獨逸ノ領域ニ歸セリ、其當時ニ於ケル

該地域ノ概算炭量ハ三十億萬噸ニシテ現時ノ概算炭量ハ五十三億萬噸ナリトス

鐵及石炭產出額(單位百萬噸)

年次	英		佛		獨	
	鐵	石炭	鐵	石炭	鐵	石炭
一八七一	六、七	一一九、二	〇、九	一二、八	一、六	三八、四
一八七六	六、七	一三五、五	一、四	一七、一	一、八	四九、二
一八八一	八、三	一五六、七	一、九	一九、八	二、九	六一、五
一八八六	七、一	一六〇、一	一、五	一九、九	三、五	七三、七
一八九一	七、五	一八八、五	一、九	二六、〇	四、六	九四、三
一八九六	八、八	一九八、五	二、三	二九、二	六、四	一一一、五
一九〇一	八、一	二二二、六	二、四	三二、二	七、九	一五三、〇

一九〇六	二〇、三	二五一、一	三、三	三四、三	一二、五	一九三、五
一九一一	九、九	二七六、三	四、四	三九、二	一五、七	二三四、五
一九一三	一〇、五	二九二、〇	五、三	四〇、八	一九、三	二七七、四

普、佛戰爭前後ニ於ケル獨逸ノ鐵及石炭鑛業ハ之ヲ英國ニ比スレハ甚  
 タ微々タルモノナリ、即チ千八百七十一年ニハ鐵ノ產出額ハ僅カニ英  
 國ノ四分一、石炭ノ產出額ハ其三分一ニ充タス、然レトモ之ヲ佛蘭西ニ  
 比スレハ同年既ニ石炭ニ於テ三倍餘ヲ產出シ、鐵ノ產出額ハ六七十萬  
 噸多量ナリシナリ、爾後獨逸ハ其努力ト其鑛物ノ豐富ナルトニヨリ鑛  
 業ハ著シク發達シ、鐵鑛業ニ於テハ千九百三年ニ英國ニ追及シテ之ヲ  
 凌クニ至リ、開戰前年ノ千九百十三年ニハ當ニ英國ノ二倍ニ達セント  
 ス、石炭鑛業ニ於テハ未タ英國ヲ凌駕スルニ至ラスト雖モ當ニ之ニ追  
 及セントシ、内國ニ於ケル消費額ハ英國ニ於ケルヨリ大ニシテ爾餘ノ  
 佛、露等ノ諸國ヲシテ遙カニ其後ニ瞠若セシムルニ至レリ

開戰前年ノ千九百十三年ニ於ケル獨逸ノ鐵產出額ハ千九百三十萬噸ニシテ北米合衆國ノ三千百五十萬噸ニ比シ大ニ遜色アルモ英國ノ約二倍ニ達シ、石炭ノ產出額ハ二億七千七百萬噸ニシテ北米合衆國ノ五億千七百萬噸ニ比スレハ僅カニ其半ヲ超過スルニ過キサアルモ當ニ英國ノ二億九千二百萬噸ニ追及セントス、爾餘ノ邦國ニ至リテハ其產出額遙カニ寡少ナリトス、實ニ獨逸ノ急速ナル斯業ノ發達ハ世界ノ鑛工業ニ及ホセル影響ノ大ナルモノアリシト共ニ獨逸ノ割讓地域ニ於ケル鐵及石炭鑛業ハ甚タ重要ナリトス

### 大戰中獨逸ノ占領シ講和後喪失スヘキ鑛產地

開戰後獨逸ノ侵略占領シタル鑛產地ハ甚タ廣大ニシテ其埋藏量隨テ莫大ナリ、講和後其喪失スヘキ地域亦廣大ニシテ之ニ埋藏セラル、鑛量亦多大ナリトス、左ニ鐵及石炭ニ就テ之ヲ表示スヘシ

鐵埋藏量(單位百萬噸)

國名	開戦前	講和前	講和後
英	四五五 <small>億</small>	四五五 <small>億</small>	四五五 <small>億</small>
佛	一、二四〇	二〇六	一、二四〇 一、八九五
獨 ロレ ー ン	一、二七〇 一、三六〇	二、四三八	七五五 <small>領有</small> 五一一
ル ク セ ム プ ル グ	九〇		
佛 ロ レ ー ン	九三三		
白 耳 義	二五	占領	
波 蘭	一二〇		

講和前獨逸ハ佛蘭西「ロレーン」州、白耳義、波蘭ヲ占領シ鐵ノ埋藏量ハ大戰前ノ約二倍即チ二十四億餘萬噸ニ達シテ世界第一ノ鐵鑛國トナルモ、講和後ニハ此等占領地ヲ返還セサルヘカラサルノミナラス、自國

「ロレーン」州ヲ佛蘭西ニ割讓スヘキヲ以テ其埋藏量ハ大戰前ノ半ニ充  
 タサル普、佛戰爭前ノ五億餘萬噸ニ減少スルニ至レリ、佛蘭西ハ講和前  
 ニハ「ロレーン」州ヲ占領セラレ、鐵埋藏量ハ大戰前ノ五分一未滿ナル二  
 億餘萬噸ニ減シタルモ、講和後ニハ自國「ロレーン」州ハ固ヨリ獨逸「ロレ  
 ーン」州ヲ恢復シテ大戰前ノ埋藏量ニ約三分二ヲ加ヘ普、佛戰爭前ノ十  
 八億九千五百萬噸ニ復シ歐羅巴第一位ノ鐵鑛國トナルニ至レリ  
 石炭埋藏量(單位百萬噸)

國名	開戰前	講和前	講和後
英	一八九、五三三 <sup>億</sup>	一八九、五三三 <sup>億</sup>	一八九、五三三 <sup>億</sup>
佛	一七、五八三	北部炭田三分ニテ失フ 一一、二三七	一七、五八三 三四、一三一
ザール炭田			一六、五四八 管 理
獨	四二三、三五六	四二三、三五六	「ザール」及上部「シレシア」ヲ失フ 二四〇、八二一
		四四三、二二七	

佛北部炭田(三分二)	六、三四六
白耳義	一一、〇〇〇
露ドムプロツア炭田	二、五二五
占領	

獨逸ハ講和前白耳義、波蘭、佛蘭西北部ノ諸炭田ヲ占領シタルモ其埋藏炭量ハ自國ノ大ニ及ハサルコト遠シ、講和後上部「シレシア」炭田(其埋藏炭量千六百五十九億八千七百萬噸)ヲ喪失スルコトハ甚タ苦痛トスルトコロナルヘク、此外「ザール」炭田ハ佛蘭西ノ管理ニ移レリ、爲ニ其埋藏炭量ハ戰爭前ノ五割六七分ニ減少セリ、而モ尙歐羅巴第一ニシテ英國ノ炭量ヨリ多シトス、佛蘭西ハ「ザール」炭田ヲ管理スルニ至リ其埋藏量ハ殆ント倍加スルニ至リタルモ尙小ニシテ之ヲ英、獨ニ比スヘカラス

### 波蘭ノ復興

復興セル波蘭ノ領域ハ未タ確定セサルカ如シ、其第十八世紀中葉ニ於



ケル盛時ノ舊地ヲ領スルニ至ルヤ否ヤヲ知ラサルモ、露西亞波蘭、獨逸  
 上部「シレシア」ノ東部、埃洪國瓦利西亞及「メーレン」州ノ一部ハ其領域タ  
 ルヘク、瓦利西亞ノ大部亦波蘭ニ屬スヘシトノ報アリ、想フニ露、獨、埃ニ  
 跨リシ大炭田及舊露西亞波蘭ノ鐵鑛ハ此新復興國ノ寶庫タルヘク、瓦  
 利西亞油田亦或ハ此國ノ開發ヲ待ツニ至ラン

新復興國波蘭ニ於ケル鐵鑛及石炭ノ埋藏量ハ左ノ如シ(單位百萬噸)

鐵鑛埋藏量(舊露西亞波蘭) 三〇〇 鐵埋藏量 一二〇

舊埃太利地域ニ鐵鑛アルモ領域明カナラサルト埋藏量多大ナラサルトヲ以テ之ヲ  
 擧ケス、上部「シレシア」ニハ二千萬噸未滿ノ鐵鑛ヲ埋藏ス、其品位概シテ良好ナラス

石炭埋藏量 一九六、四七六

舊獨逸上部シレシア炭田 一六五、九八七

舊露西亞ドムブロヅァ炭田 二、五二五

舊埃太利オストラウ、カルウキン、クラカウ炭田 二七、九六四

鐵鑛ノ埋藏量ハ敢テ多大ナラスシテ品位亦良好ナラス、其產出額ハ明

カナラサルモ波蘭及上部「シレシア」共ニ一ケ年二三十萬噸ナラン、千九百十三年ニハ波蘭ハ四十萬噸ノ鐵ヲ製出シ鐵鑛ハ主ニ南露ヨリ輸入シ、上部「シレシア」ハ九十九萬噸ノ鐵ヲ製出シ鑛石ハ南露、瑞典、埃洪國ヨリ輸入シ、埃洪國「メーレン」州ハ約六十萬噸ノ鐵ヲ製出シタルモ同州産ノ鑛石ハ一萬噸ニ充タスシテ其他ハ他ノ埃洪國、瑞典、南露ヨリ輸入セリ、「メーレン」州製鐵地方ハ石炭ノ關係ヨリ見ルニ或ハ大部分新復興ノ波蘭領域ニ入ルナラン、故ニ將來鐵鑛ヲ輸入スルヲ得ハ波蘭ハ一年二百萬噸ノ鐵ヲ製出スヘキナリ

石炭ノ埋藏量ハ巨大ニシテ獨、英ニ匹敵スルニ足リ、開戰前年ノ千九百十三年ニハ上部「シレシア」炭田ノ四千四百萬噸、「オストラウ、カルウ<sub>ン</sub>、クラカウ」炭田ノ九百萬噸、「ドムブロヴァ」炭田ノ七百萬噸、合計六千餘萬噸ノ石炭ヲ產出シ、中央歐羅巴ニ於ケル最モ重要ナル石炭市場ナリトス

以上ノ鑛產地ハ舊露西亞波蘭鐵鑛地ノ一部ヲ除クノ外ハ戰禍ヲ被ラヌシテ獨逸ニ占領セラレタレハ被害少ナカルヘク、大戰前ノ状態ニ恢

復スルコトハ甚タシク困難ナラサルヘシ  
 新復興ノ波蘭ハ此ノ如ク一年鐵約二百萬噸、石炭六千餘萬噸ヲ產出シ  
 其埋藏量ヨリ之ヲ推スニ其產出額ヲ増加セシムルコトヲ得ヘキナリ、  
 近時ノ所報ノ如ク瓦利西亞ノ大部亦波蘭ニ屬スヘシトセハ更ニ年額  
 六七百萬「バーレル」ノ石油ヲ得ヘキナリ、加之北方「バルチック」海ニハ「ダン  
 チヒ」港アリ、新復興國ノ是等資源ヲ開發シ以テ昔日ノ盛ヲ誇ルノ日ヲ  
 期待スルモノナリ

### 講和前及講和後ノ白耳義

白耳義ハ開戦後其重要ナル地域皆獨逸ニ占領セラレ、同國ノ生命タル  
 「ミューズ」河流域ノ鑛工業ハ獨逸ノ支配管理ノ下ニ操業セラル、ニ至  
 リ其產出額ハ大ニ減少セリ、殊ニ鐵鑛業ノ如キハ殆ント廢滅ニ歸セン  
 トスルノ状態ニアリ、左ニ開戦前年ノ千九百十三年ヨリ千九百十七年  
 ニ至ル鐵及石炭ノ產出額ヲ擧ケン

鐵產出額

年次	產出額	年次	產出額
一九一三	二、四八四、六九〇 <small>噸</small>	一九一六	一二九、七八五 <small>噸</small>
一九一四	一、四五四、四九〇	一九一七	七、九九〇
一九一五	六八、一五〇		

石炭產出額

年次	產出額	年次	產出額
一九一三	二二、八四一、五九〇 <small>噸</small>	一九一六	一六、八六二、八七〇 <small>噸</small>
一九一四	一六、七二四、〇五〇	一九一七	一四、九一九、七〇〇
一九一五	一四、一七七、五〇〇		

石炭ハ大戦中主ニ操業日數ノ減少ノ爲メ產出額減少シ、鑛山數ハ百二

十五ヨリ百十六ニ減少シタリ、近時ノ所報ニヨレハ被害多カラスシテ一部ヲ除ケハ大戰前ノ状態ニ復スルコト困難ナラサルヘシト云フ、鐵ノ產出額ハ甚タシク減少シテ千九百十三年ニハ五十四ノ熔鑛爐操業セシモ多クハ破壞セラレテ千九百十七年ニハ一爐ノ操業スルニ止マリ、機械類ハ或ハ破壞セラレ或ハ獨逸ニ運搬セラレ大戰前ノ状態ニ復スルコト蓋シ容易ナラサルヘシト云フ

白耳義ハ其國內ニ藏スル鐵鑛量多カラス、開戰前年ノ千九百十三年ニ於ケル產出額ハ八萬餘噸ニシテ同年六百七十七萬餘噸ノ鐵鑛ヲ主ニ佛蘭西ヨリ輸入シタリ、然ルニ佛蘭西ノ大鐵鑛地タル「ロレーン」州ハ開戰後直チニ獨逸ニ占領セラレタリ、而シテ獨逸ハ此地方ノ鐵鑛ヲ採掘シ之ヲ白耳義ニ運搬シテ製鍊スルヨリ自國又ハ占領地ニ於テ製鍊スルコト運搬其他ニ於テ有利ニシテ且ツ安全ナルヲ以テ白耳義ニ於ケル熔鑛爐、機械類ハ或ハ之ヲ破壞シ、或ハ之ヲ自國ニ運搬シタリ、隨テ白耳義ニ於ケル鐵鑛業ハ前記ノ如ク殆ント全滅スルニ至レルナリ

# 講和前ノ獨逸

講和前ノ獨逸ハ鐵及石炭ノ埋藏量ニ於テ歐羅巴ニ冠タルコト前述ノ如シ、茲ニ獨逸及其占領地ニ於ケル埋藏量ト大戰前此等地方ヨリ產生セル鐵、石炭、石油ヲ舉クレハ左ノ如シ

## 鐵鑛及鐵

國名	埋藏量 (單位百萬噸)		產出		量 (單位百萬噸)	
	鐵鑛	鐵	鐵鑛	鐵	鐵鑛	鐵
獨逸 (ルクセムガ、ルグ、チ含ム)	三、八七八	一、三六〇	三五、九	一九、三	?	(鋼一六、一)
佛羅レイン	二、八〇〇	九三三	一七、九	三、五	?	?
波蘭	三〇〇	一一〇	〇、三	〇、四	?	?
白耳義	六二	二五	〇、一	二、五	?	〇、一
合計	七、〇四〇	二、四三八	五四、二	二五、七	?	一三、三 (+)

石炭

獨逸	國名	埋藏量(單位百萬噸)	產出額	
			產	出
獨逸	佛北部炭田、三分二	四二三、三五六 <sup>億</sup>	一九一三	一九一六
	露ドムプログア炭田	二、五二五	二七七、四 <sup>億</sup>	二四六、八 <sup>億</sup>
	白耳義炭田	一一、〇〇〇	七、〇	?
合計		四四三、二二七	三二六、七	二六三、七 <sup>(十)</sup>

石油

獨逸	國名	產出額	
		產	出
獨逸		一九一三	一九一六
		一、〇	一、〇

(單位百萬バレル)

	瓦利西亞	七、八	六、五
	羅馬尼(占領地)	一三、五	一〇、三
合計		二二、三	一七、八

大戦中獨逸ノ占領獲得シタルトコロ此ノ如ク大ニシテ其產出額亦此ノ如ク大ナリ、然レトモ大戦中以上鑛產地ハ或ハ戰場ト化シ、或ハ戰禍ヲ被リ、大戦前ニ於ケルカ如ク產出セサルコトハ前記及曩ニ記述セルカ如シ、若シ南露鐵鑛地、「ドネツ」炭田、「バク」油田獨逸ニ歸セハ更ニ鐵ニ於テ埋藏量二三億萬噸、產出額三百餘萬噸、石炭ニ於テ埋藏量五百五十六億萬噸、產出額二千五百餘萬噸、石油ニ於テ產出額六千三百餘萬「バレル」ヲ加フヘク、其埋藏量及產出額蓋シ多大ナリト云フヘキナリ

### 講和後ノ獨逸

獨逸ハ講和ノ結果「アルサス」、「ロレーン」二州ヲ佛蘭西ニ割讓シ「ザール」盆



地ヲ佛蘭西ノ管理ニ委シ、波蘭ノ獨立ニヨリ上部「シレシア」ヲ失ヒ鐵及石炭ノ埋藏量ニ於テ大ニ喪失スヘキコトハ既ニ之ヲ表示シタリ、蓋シ將來ニ於ケル獨逸ノ寶庫ハ大戰前ト同シク「ウエストフリア」炭田ナリトス、同炭田ノ埋藏スル炭量ハ實ニ二千百三十五億六千六百萬噸ニシテ大戰前年ノ千九百十三年ノ產出額ハ一億千四百餘萬噸ニ達ス、想フニ大戰前獨逸ハ石炭ヲ佛蘭西ニ供給シ鐵鑛ヲ佛蘭西ヨリ輸入シ、千九百十三年ニハ佛蘭西「ロレーン」州鐵鑛ノ輸入三百三十餘萬噸ニシテ「ルクセムブルグ」ヲ含ミ輸出二百萬噸、佛、獨「ロレーン」州總產出額約四千八百二十萬噸中三千萬噸即チ約六割五分ノ鐵鑛ヲ製鍊シタリ、隨テ將來ニ於ケル佛、獨ノ關係如何ハ鐵及石炭鑛業上重要ナリトス(第一表參照)講和後ニ於ケル獨逸ノ鐵及石炭ノ喪失ハ多大ニシテ即チ左ノ如シ鐵鑛及鐵(單位百萬噸)

國 名		埋 藏 量	產 出 額 (一九一三)
鐵	鐵	鐵	鐵

石 炭(單位百萬噸)

大 戰 前 <small>(「ルクセムプ」 「ルク」ヲ含ム)</small>	三、八七八 <sup>億</sup>	一、三六〇 <sup>億</sup>	三五、九	一九、三
ロレーン州 <small>(佛蘭西ニ割讓)</small>	二、三三〇	七五五	二一、一	六、四
ルクセムプブルグ <small>(獨逸ニ離ル)</small>	二七〇	九〇	七、三	一、四〇
差引即チ講和後	一、二七八	五一五	七、五	一〇、五
外ニ「ザール」地方 上部「シレシア」 一、四〇				

國	名	埋 藏 量	産 出 額 (一九一三)
大 戰 前	上部シレシア (波蘭ニ入ル)	四二三、三五六 <sup>億</sup>	二七八、七 <sup>億</sup>
	ザール炭田 (佛蘭西管理)	一六、五四八	一六、八
差 引 即 ち 講 和 後		二四〇、八二一	二一八、一
	内 ウェストファリア炭田	二二三、五六六	一一四、五

「ウエストフリア」炭田ハ戰場タラスシテ戰禍ヲ被ラス、隨テ大戰前ニ於ケル狀態ト多ク異ナルトコロナカルヘシ、「ロレーン」鐵鑛地ヲ除ケル獨逸ノ鐵鑛產出額ハ千九百十三年ニハ七百五十萬噸ニシテ千九百十三年ニハ輸入千四百噸、輸出二百六十萬噸ナリトス、石炭ハ上部「シレシア」炭田及「ザール」炭田ヲ除クモ千九百十三年ニハ瀝靑炭一億三千百萬噸、褐炭八千七百萬噸、合計二億一二千萬噸ヲ產出シタリ

獨逸ハ斯ク多大ノ鐵及石炭ヲ喪失セルモ尙鐵鑛埋藏量十二億七千八百萬噸、鐵埋藏量五億千五百萬噸、石炭埋藏量二千四百八億二千百萬噸ヲ有シ、開戰前年ノ千九百十三年ニハ是ヨリ鐵鑛七百五十萬噸、石炭二億一二千萬噸ヲ產出シ、產出額ニ於テハ英國ニ劣ルモ埋藏量ニ於テハ英國ヲ凌キ、大戰中ノ狀況ヨリ推察スルニ瑞典トノ關係ハ敢テ不良ナラサルヘク、隨テ大戰前ト同シク同國ヨリ良好ナル四五百萬噸ノ鐵鑛ヲ輸入スルヲ得ヘク、大戰前ノ狀態ニ復スヘシトセハ輸入鐵鑛ト相待テ鐵五百萬噸以上ヲ製出スルコト疑ナカルヘク、更ニ千萬噸ヲ超過ス

ルニ至ルヤ未タ知ルヘカラス、又大戰前ニ製鍊セル三千萬噸ノ「ローレン」州ノ鐵鑛ヲ製鍊セサルニ於テハ大戰前其製鍊ニ供用セシ石炭ノ過剩ハ甚タ大量ニ達スルナルヘク其販路ヲ外國市場ニ求ムルニ至ルヘシ、要スルニ獨逸ハ講和ノ結果多大ノ鐵及石炭ヲ失ヘルモ其國內ニ殘存セル埋藏量尙多大ナルヲ以テ大戰前ノ盛ナルニ及ハサルコト遠シト雖モ尙以テ世界ニ於ケル大鐵鑛國及大石炭國ト稱スヘク、將來ニ於ケル獨逸ノ鐵及石炭鑛業政策ハ世界ノ鐵及石炭鑛業ニ大ナル關係ヲ有スヘキナリ(附錄第二表參照)

### 講和前及講和後ノ佛蘭西

開戰後佛蘭西ハ「ナンシー」地方(埋藏量鐵鑛二億萬噸、鐵六千六百六十七萬噸、產出額鐵鑛百九十萬噸)ヲ除ケル「ローレン」鐵鑛地及北部炭田ノ三分二ヲ獨逸ニ占領セラレ、鐵埋藏量ハ十一億萬噸ヨリ其五分一未滿ナルニ億餘萬噸ニ減シ、大戰前ノ產出額ト同一ト假定セハ大戰中ノ鐵鑛

産出額ハ四百萬噸ニ減シタルヘク、北部及東部ノ鐵鑛業ハ戰禍ヲ被リテ製鐵設備ハ大部分破壊セレ或ハ獨逸ニ運搬セラレ數年間ハ舊態ニ復スルコト困難ナルヘク、石炭ハ埋藏量百七十五億萬噸ヨリ百十二億萬噸ニ減シ、産出額ハ半減スルニ至レリ、實ニ鐵及石炭ノ大部ヲ喪失シ及差引一年千七百萬噸ノ石炭ヲ輸入セル佛蘭西ノ苦痛想フヘキナリ、千九百十三年ヨリ千九百十八年ニ至ル産出額左ノ如シ(單位百萬噸)

		一九一三	一九一四	一九一五	一九一六	一九一七	一九一八
銑鐵	五、三	四、四	一、三	一、四	一、七	一、三	
鋼鐵	四、四		二、〇	二、二	一、九		
石炭	四〇、九	三九、七	一九、九	二一、五	二八、九	二八、〇	

講和ニ際シ佛蘭西ハ「アルサス」「ロレーン」三州ヲ收メ「ザール」炭田ヲ管理スルニ至リ鐵鑛及石炭ノ埋藏量ハ倍加スルニ至レリ、左ニ其埋藏量ト

産出額トヲ舉ケン

埋藏				鐵鑛產出額 (一九一三)(單位百萬噸)	
大戦前		舊獨逸ロレイン		大戦前	舊獨逸ロレイン
鐵鑛	鐵	鐵鑛	鐵		
三、三〇〇 <sup>億</sup>	一、一四〇 <sup>億</sup>	二、三三〇 <sup>億</sup>	七五五 <sup>億</sup>	二一、八	二一、一
合計即チ講和後		合計即チ講和後		合計即チ講和後	
五、六三〇 <sup>億</sup>		一、八九五 <sup>億</sup>		四二、九	

石炭埋藏量 (單位百萬噸)		石炭產出額 (一九一三)(單位百萬噸)	
大戦前	ザール炭田	大戦前	ザール炭田
一七、五八三 <sup>億</sup>	一六、五四八 <sup>億</sup>	四一	一七
合計即チ講和後		合計即チ講和後	
三四、一三一 <sup>億</sup>		五八	

佛蘭西ハ此ノ如ク石炭埋藏量ニ於テ倍加スルニ至リタルモ其量ハ多大ナラスシテ遙カニ英、獨ニ劣リ、產出額ニ於テモ亦然リトス、若シ夫レ大戦前ト同一ノ產出アリト假定スルモ尙輸入ヲ防キテ自給スルニ足ラス、然ルニ同國第一位ノ北部炭田ハ戰場ト化シテ炭坑ハ甚タシク破壊セラレ、今後少ナクモ五年間ハ大戦前ノ状態ニ復スルコト能ハサル

へク、又恢復不可能ナル炭坑アルヘシト云ヒ、全部舊態ニ復スルコトハ或ハ困難ナルヘク、「ザール」炭田ノ產出額ハ或ハ僅カニ之ヲ償フナルヘク、要スルニ「ザール」炭田所產ヲ加ヘ石炭年產出額ハ大戰前ト多ク異ナルコトナカルヘシ

鐵鑛ニ至リテハ卽チ然ラス、獨逸「ロレーン」州ヲ收メタル佛蘭西ハ歐羅巴ニ於テ其埋藏量ハ遙カニ他國ヲ凌キテ北米合衆國ニ次キ、其產出額ニ於テモ亦然リトス、而シテ佛蘭西「ロレーン」鐵鑛地ハ開戰後直チニ獨逸ニ占領セラレ、大戰中獨逸ノ製鐵原料タル鐵鑛ハ此地域ヨリモ多量ニ供給セラレタルカ如ク、隨テ多少ノ被害アリタリトスルモ大戰前ノ狀態ニ復スルコト困難ナラサルヘク、獨逸「ロレーン」鐵鑛地ニ於ケル一年ノ鐵鑛產出額ハ「ルクセムブルグ」ヲ除キ四千萬噸以上ニ達スヘキナリ、佛蘭西ハ此多大ノ產出額ヲ如何ニ處理スヘキヤ、同國ニ於ケル石炭ハ以テ此鐵鑛ヲ製鍊スルニ足ラス、實ニ將來ニ於ケル同國ノ鐵鑛業政策ハ世界ニ於ケル鐵鑛業ニ大ナル影響ヲ及ホスヘキヲ想フモノナリ

大戰前佛蘭西ハ石炭ノ供給ニ缺クルトコロアリ、其鐵鑛ハ年產出額ノ約半額ノ千萬噸ヲ主ニ獨、白ニ輸出シ石炭ヲ輸入シタリ、今後同國ニ於ケル石炭ノ供給前述ノ如シトセハ假令大戰前ト同一ノ輸入アリトスルモ年額約三千萬噸ノ鐵鑛ハ國內ニ於テ之ヲ製鍊スルコト能ハサルヘシ、況ンヤ大戰前同國ニ於テ此鐵鑛ヲ製鍊セシ鐵鑛業ハ容易ニ舊態ニ復スルコト能ハサルニ於テオヤ、故ニ此多大ノ鐵鑛ハ或ハ之ヲ輸出スルカ、或ハ之ヲ製鍊スル爲メニ石炭ヲ輸入スルカ、或ハ鐵鑛ノ採掘ヲ甚タシク制限シ自國ニ於テ之ヲ製鍊スルノ外ナカルヘシ

### 「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊ト石炭トノ關係

「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊ト英、獨、佛、白ノ石炭トハ密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ茲ニ此等諸國ニ於ケル石炭需給ノ狀態ニ就キ記述シ該鐵鑛ノ製鍊ニ及ハントス、而シテ褐炭ハ直接ニ關係ナキヲ以テ之ヲ舉ゲス

- 一 大戰前及大戰中ニ於ケル英、佛、白、伊、獨ノ石炭



英國 開戰前年ノ千九百十三年ノ石炭產出額ハ二億九千二百四萬噸ナリ、同年ニ於ケル輸出(輸入ハ僅少ナルヲ以テ之ヲ舉ケス)左ノ如シ(單位百萬噸)

石炭	輸出額		石炭		輸出額	
	「パンカー」	計	佛	白	獨	露
七六、七	二一、四	九八、一	一三、八	九、六	九、二	六、〇
						瑞 典
						四、五

以上ノ外「アルジエンチン」(三、七)、西班牙及「カナリー」島(三、六)、埃及(三、二)、丁抹(三、〇)、諾威(二、三)、白耳義(二、〇)、和蘭(二、〇)、伯刺西爾(一、九)、葡萄牙、「アゾール」及「マデーラ」島(一、四)、「アルジエリ」(一、三)、埃洪國(一、〇)ニ百萬噸以上ノ石炭ヲ輸出シ殆ント全世界ニ英炭ヲ見サルナク、世界ノ石炭市場ニ於テ最重要ナル位置ヲ占ム(括弧内ハ產出額、單位ハ百萬噸)

開戰後石炭ノ產出額ハ減少セルモ輸出額減少シ、其結果國內消費量ハ寧ロ増加シタリ、即チ左ノ如シ(單位百萬噸)

年次	石炭 産出額	輸 出 額				石 炭 輸 出 額			
		石炭 (該炭ヲ含ム)	「バンカー」	計	佛	伊	獨	露	瑞典
一九一三	二九二、〇	七六、七	二一、四	九八、一	一二、八	九、六	九、〇	六、〇	四、六
一九一四	二七〇、一	六一、八	一八、五	八〇、三	一二、三	八、六	五、三	三、一	四、二
一九一五	二五七、三	四五、七	一三、六	七九、三	一七、六	五、八		〇、〇四	二、七
一九一六	二六〇、五	四一、二	一三、〇	五四、二					
一九一七	二五二、五	三八、七	一〇、二	四八、九	一五、八				

佛蘭西 開戰前年ノ千九百十三年ノ産出額ハ石炭四千百萬噸、骸炭三百萬噸ナリ、輸出ハ石炭百三十萬噸、骸炭百萬噸、輸入ハ石炭千八百六十九萬噸、骸炭三百七萬噸ニシテ内英國ヨリ千二百八十萬噸、白耳義及獨逸ヨリ各約三百五十萬噸ノ石炭ヲ輸入シ、骸炭ハ殆ント全部獨逸ヨリ輸入セリ、即チ佛蘭西ハ差引千七百餘萬噸ノ石炭、二百餘萬噸ノ骸炭ヲ輸入シテ同年ノ所要額ハ石炭五千八百萬噸、骸炭五百萬噸ナリトス、開

戰後主要ナル北部炭田ノ三分ニヲ獨逸ニ占領セラレテ產出額著シク減少シ、輸入ハ増加シタルモ其減少額ヲ補フニ足ラス、即チ左ノ如シ

年次	產出額 (單位百萬噸)	輸 入	
		總 額	英 國
一九一三	四〇、九	一八、七	一二、八
一九一四	二九、七	一七、六	一二、三
一九一五	一九、九	一九、七	一七、五
一九一六	二一、五	二〇、二	
一九一七	二八、九	一七、三	一五、八

白耳義 近年產出額減退ノ狀態ニアリ、開戰前年ノ千九百十三年ノ石炭產出額ハ二千二百八十四萬噸ニシテ千九百五年以來ノ最低額ナリトシ、此外煉炭二百六十萬噸、骸炭三百四十五萬噸ヲ產出セリ、同年ニ於ケル輸出ハ石炭四百九十四萬噸、骸炭百四十六萬噸、輸入ハ石炭八百八

十七萬噸、骸炭百四十七萬噸ニシテ差引四百萬噸ノ石炭ヲ輸入シ、同年ニ於ケル所要額ハ石炭二千七百萬噸、骸炭三百四十萬噸トス、開戦後ニ於ケル産出額ハ前節ニ於テ之ヲ記述シタリ

伊太利 石炭ノ産出額ハ僅少ニシテ大部ハ輸入ニ待テリ、開戦前年ノ千九百十三年ノ産出額ハ石炭七十萬噸、煉炭九十一萬噸、骸炭五十萬噸ナリ、同年ニ於ケル輸入ハ千八十三萬噸ニシテ英國ノ九百六十五萬噸ヲ主トシ獨逸ノ約百萬噸之ニ次ク、輸出ハ十九萬噸トス

開戦後ニ於ケル産出額及輸出入額ハ左ノ如クニシテ大戦前ヨリ減少シタリ

年次	産出額 (單位百萬噸)			石炭輸入額 (單位百萬噸)	
	石炭	骸炭	煉炭	總額 (骸炭ヲ含ム)	英國
一九一三	〇、七	一、三	〇、九	一〇、八	九、六
一九一四	〇、八	一、三	一、〇	九、八	八、六

一九一五	一、〇	一、四	〇、七	八、四	五、九
一九一六	一、三	—	—	八、一	—

獨逸 千九百十三年ノ產出額ハ瀝青炭一億九千五百五十一萬噸、骸炭三千二百十七萬噸ナリ、同年ニ於ケル輸出額ハ左ノ如シ(單位百萬噸)

輸 出 額		石 炭 輸 出 額					骸炭輸出額	
石 炭	骸 炭	煉 炭	塊 洪 國	和 蘭	白 耳 義	佛 蘭 西	伊 太 利	佛 蘭 西
三四、六	六、四	六、二	一二、七	一一、四	六、〇	三、〇	一、〇	三、〇

輸入ハ石炭千五十萬噸ニシテ九百二十萬噸ハ英國ヨリ輸入セリ、此外少量ノ骸炭及煉炭ヲ輸入ス  
 輸出中塊洪國ヘノ千二百七十五萬噸ノ石炭ハ主ニ上部「シレシア」炭田ノ所産ニ、和、白、佛ヘノ二千百萬噸ノ石炭、佛蘭西ヘノ三百噸ノ骸炭ハ殆ント「ウエストファリア」炭田ノ所産ニ係レリ、故ニ獨逸ニシテ大戰前ト同一ノ状態ニ復ストセハ「ウエストファリア」炭田ヨリ二千餘萬噸ノ石炭ト、四五

百萬噸ノ骸炭ヲ輸出シ得ヘキナリ  
 開戦後其産出額ハ激減シ開戦當初ノ千九百十四年八月ニハ「ウエストフ  
 リア」炭田ノ所産ハ二百五十萬噸ニ減少シタルモ次第ニ恢復シテ一箇  
 月五百五十萬噸トナレリ、輸入ハ杜絶シタルモ佛蘭西北部、白耳義及波  
 蘭ノ占領地ニ於テ石炭ヲ採掘シテ之ヲ使用シ、輸出ハ明カナラサルモ  
 佛、白、伊等ニ供給セサルヲ以テ著シク減少シ、隨テ消費額ハ大戦前ヨリ  
 寧ロ増大シタリ、産出額及輸出額左ノ如シ

年次	産 出 額 (單位百萬噸)			輸 出 額 (單位百萬噸)		
	石炭	骸炭	煉炭	石炭	總額	和蘭
一九一三	一九一、五	三二、二	一一四、五	四三、八	一二、二	三四、六
一九一四	一六一、五	二七、三	九八、三	四三、三	九、三	一三、三
一九一五	一四六、七	二六、四	八六、八	四三、三	八、二	六、五

一九一六	一五八、八	三三、〇	九四、二	二六、三	三、九	四二、〇	八、八
一九一七	一六七、三	三三、六	九九、一	二六、九	三、七	四二、九	九、六
一九一八	一六〇、六	三三、四	九五、九	二六、九	三、七	三九、九	九、二

二 大戰前及大戰中ニ於ケル「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊

「ロレーン」鐵鑛ハ獨逸ニ於テハ主ニ「ウエストフリヤ」炭田、一部ハ「ザール」炭田ノ石炭ニヨリ製鍊セラレ、佛蘭西ニ於ケル千九百十三年ノ鐵產出額五百三十萬噸ノ八割餘ハ主ニ「ロレーン」鐵鑛ヨリ同國東部及北部即チ戰場附近ニ於テ北部炭田並ニ輸入石炭及骸炭ニヨリ製鍊セラレ、白耳義ノ鐵鑛業ハ事實上「ロレーン」鐵鑛ニ據リ、自國及輸入石炭ニヨリ之ヲ製鍊シタリ、然ルニ大戰中白耳義ノ鐵鑛業ハ前述ノ如ク殆ント全滅ニ近ク、佛蘭西ノ主要ナル鐵鑛業地方ハ戰場ニ化シ其鑛業ハ甚タシク損害ヲ受ケ白耳義ト同シク舊態ニ復スルコト容易ナラスト云フ、之ニ反シ獨逸ニ於テハ大戰前ト敢テ異ナルトコロナカルヘキモ產出額ハ著

シク減少シタリ、即チ一箇月百五六十萬噸ヲ製出シタル同國ノ鐵鑛業ハ開戰當初ノ千九百十四年八月ニハ急ニ五六十萬噸ニ激減シタリ、而モ次第ニ増加シテ百十萬噸以上百二十萬噸ニ復セリ、蓋シ獨逸ハ大戰前差引千二百萬噸ノ鐵鑛ヲ輸入シ差引五百九十萬噸ノ鐵、鋼ヲ輸出シタリ、開戰ト共ニ輸出入杜絶シタルヲ以テ銅其他ノ金屬ニ不足ヲ來タシ其結果鐵、鋼ヲ以テ之ニ代用シタルモノアルモ其量ハ敢テ多カラス、而シテ輸出ノ杜絶ト共ニ大戰前ニ輸出シタル多額ノ鐵、鋼ハ之ヲ要セサリシナルヘク、西班牙及佛蘭西ヨリノ輸入ハ杜絶シタルモ瑞典ヨリハ相當ニ良好ナル鑛石ヲ輸入シタルカ如ク、占領地佛蘭西「ロレーン」州ニハ多大ノ鐵鑛アリ、波蘭亦相當ノ鐵鑛ヲ有ス、石炭ニ就テハ新ニ佛蘭西北部、白耳義及「ドムブロヴァ」炭田ヲ占領シタリ、即チ原料ニ於テ缺クルコトナク、開戰後鐵鑛業ノ設備ニ於テ敢テ變化アリト認ムヘキナキノミナラス寧ロ佛、白ノ設備ヲ利用スルヲ得タルナルヘク、隨テ獨逸ハ所要ノ鐵、鋼ヲ製出スルニハ敢テ困難ナカリシナルヘシ、然レトモ戰時中



諸般ノ事情ハ獨リ原料及設備ノミヲ以テ律スヘカラサルモノアリ、獨逸ノ佛、白等ノ機械類ヲ破壞シ之ヲ自國ニ運搬シタルハ戰時及戰後ニ對スル考慮ニ出タルト共ニ戰時鐵、鋼ノ製造ニ多忙ニシテ直ニ之ヲ其製造ニ使用セル爲ナリト云フ

開戰前年ノ千九百十三年ヨリ千九百十七年ニ至ル獨逸及主ニ「ロレーン」鐵鑛ヲ原料トセル地方(獨逸領)ノ鐵、鋼ノ產出額ハ左ノ如シ(單位百萬噸)

年次	一九一三		一九一四		フアエリスト	ザール	ロレーン	ルクセムブルグ	シレシア
	鐵	鋼	鐵	鋼					
總額	一九、三	一九、〇	一四、四	一五、〇	八、三	一、四	三、九	二、五	一、〇
獨逸	八、三	二、一	一、〇	一、四	〇、八	一、八	一、五	一、二	〇、六
佛	一、四	二、一	二、五	一、八	一、八	一、八	一、二	一、二	〇、七
白	一、四	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
其他	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二

一九一七	一九一六	一九一五
鋼	鋼	鋼
一六、六	一六、二	一三、三
銑	銑	銑
一三、一	一三、二	一三、三
九、四	九、二	七、六
一、三	一、三	一、一
一、五	一、五	一、二
一、一	一、三	一、〇
一、五	一、四	一、二
〇、八	〇、八	〇、八
〇、九	〇、九	〇、九
二、〇	二、一	二、二
二、〇	二、〇	二、〇
一、五	一、三	一、〇
一、五	一、五	一、二

獨逸ハ開戰前年ノ千九百十三年ニハ「ロレーン」鐵鑛總產出額四千八百萬噸中三千萬噸ヲ製鍊シタリ、同年「ウエストファリア」、「ザール」、「ロレーン」、「ルクセムブルグ」ニ於テ製出シタル千六百萬噸ノ銑鐵中約千萬噸ハ「ロレーン」鐵鑛ヨリ、約六百萬噸ハ「ロレーン」鐵鑛地以外ノ自國及輸入鐵鑛ヨリ製鍊シタルモノナリ、而シテ之カ製鍊ニ要セシ石炭ハ一小部ヲ除ケハ「ウエストファリア」灰田所產ニシテ「ロレーン」、「ルクセムブルグ」ノ如キ地方ニハ「ウエストファリア」ヨリ石炭ヲ輸送シタリ、佛、白ニ於ケル鐵鑛業亦「ウエス

トフリア「炭田ノ石炭及骸炭ヲ使用シ兩國ニ於ケル其輸入額數百萬噸ニ及ヘリ(附録第一表參照)

三 講和後ニ於ケル英、獨、佛、白ノ石炭

大戦中各國ニ於ケル石炭ノ產出額ハ減少シタリ、而シテ戰場タラスシテ戰禍ヲ被ラサリシ炭田ノ石炭產出額ハ講和後ニハ大戦前ト同一ノ状態ニ復スヘキモノナリ

獨逸 上部「シレシア」炭田及「ザール」炭田ヲ失ヘルヲ以テ石炭ノ年產出額ハ一億三千百萬噸ニ減シ、大戦前ニハ是ヨリ二千餘萬噸ヲ和、白、佛ニ輸出シタリ、然ルニ講和後ニハ十年間佛、白、伊等ニ毎年約三千五百萬噸ノ石炭ヲ供給セサルヘカラス、即チ左ノ如シ

佛蘭西 毎年七百萬噸

前五年間毎年二千萬噸

北部炭田ノ被害ニ對シ

後五年間毎年八百萬噸

白耳義 毎年八百萬噸 ルクセムブルグ 毎年百五十萬噸

伊太利 初年四百五十萬噸ヨリ遞増シ、後五年間毎年八百五十萬噸  
獨逸ハ大戰前其製鍊シタル一年三千萬噸ノ「ローレン」鐵鑛ヲ製鍊シテ  
鐵、鋼ヲ製出セサルニ於テハ之ニ要セシ多量ノ石炭及骸炭ヲ要セサル  
ニ至ルヘク、前記ノ如ク十年間約三千五百萬噸ノ石炭ヲ佛、白、伊等ニ供  
給スルモ大戰前ニ輸出セル二千萬噸輸入セル千萬噸、差引輸出セル千  
萬噸ヲ加ヘテ一年二三千萬噸ノ石炭ハ尙能ク之ヲ輸出スルヲ得ヘキ  
ナリ

佛蘭西 第一位ノ北部炭田三分二ハ戰禍ヲ被リ數年間ハ舊態ニ復ス  
ルコト困難ナルヘシト云ヒ、千九百十六年ノ石炭產出額ハ開戰前年ノ  
千九百十三年ニ比シ約其半額ノ二千萬噸ニ減シ、新ニ管理スルニ至レ  
ル「ザール」炭田ノ所產ヲ加ヘテ講和後ニ於ケル一年ノ產出額ハ四五千  
萬噸トシテ大差ナカルヘシ、而シテ獨逸ヨリ前記ノ石炭ノ供給ヲ受ク  
ヘシトセハ當初ノ五年間ハ大戰前ノ供給ニ超過スルコト約千萬噸、後

ノ五年間ハ是ヨリ少ナキコト約二百萬噸ナリトス、而シテ大戰前ニ獨逸ヨリ供給セル三百萬噸ノ骸炭ハ或ハ之カ供給ヲ受クルコト能ハサラン、若シ然リトセハ石炭ノ供給ハ前五年ト雖モ大戰前ト多ク異ナルトコロナシ、若シ夫レ英、白ヨリ大戰前ト同一ノ供給ヲ受クルヲ得ハ其量ハ(前五年間)即チ大戰前ノ供給ニ超過スルモノナリトス

白耳義ニ於ケル炭田ハ開戦ノ當初戰場ト化シタルノミニシテ大戰中其石炭ハ採掘セラレ、千九百十七年ノ産出額ハ大戰前ノ産出額ヨリ七八百萬噸少ナシトス、本炭田ハ戦禍ヲ被リタルモ佛蘭西ニ於ケルカ如ク甚タシカラスシテ一部ヲ除ケハ大戰前ノ状態ニ復スルコト敢テ困難ナラスト云ヒ、獨逸ヨリ八百萬噸ノ石炭ヲ受クルニ於テハ其供給ハ大戰前ヨリ稍大ナラン

英國獨逸ニシテ佛、伊、白ニ前記ノ石炭ヲ供給ストセハ大戰前ノ状態ニ於テハ佛蘭西ハ前述ノ如ク英炭ヲ要セサルヘク、伊太利ヘノ輸出亦大ニ減少スヘキナリ、亦獨逸ニ石炭ヲ輸出セストセハ佛、伊、獨ニ供給セ

ル英國ノ約三千萬噸ノ石炭ハ之ヲ要セサルニ至ルヘキナリ

#### 四 講和後ニ於ケル「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊

大戰中鐵及石炭ノ產出額減少セルト共ニ輸出額亦減退シ、交戰國ニ於テハ特ニ此等鑛物ニ對シテ節約ニ努メタリ、而シテ交戰地域ニ於テハ採掘不可能ニ陥リ又ハ戰禍ヲ被リテ鐵及石炭鑛業ノ今後數年間ハ恢復困難ナルモノアリ、或ハ恢復不可能ナリト稱セラル、モノアリ、甚タ戰禍ヲ被ラサリシ「ロレーン」鐵鑛地ニシテ大戰前ノ如ク一年能ク四千八百萬噸ノ鐵鑛ヲ產出ストセハ此多大ノ鐵鑛ヲ製鍊スルニ足ル石炭ノ產出地ハ獨逸ト英國トアルノミ、大戰中「ロレーン」鐵鑛ノ產出額ハ減少シタルモ「ナンシー」附近ノ一年產出額二百萬噸ノ鐵鑛ヲ除キ全部獨逸ノ石炭ニヨリ製鍊セラレタリ、開戰前年ノ千九百十三年ニハ總額四千八百萬噸中三千萬噸ハ獨逸ニ於テ獨逸ノ石炭ニヨリ製鍊セラレ、殘餘ノ約千八百萬噸ハ殆ント白耳義及佛蘭西ニ於テ製鍊セラレ、之カ製鍊ニ要セシ石炭ハ自國產ナリシモ一部ハ英、獨ヨリ之ヲ輸入シタリ

講和後石炭ノ供給ハ前記ノ如クナルヲ以テ「ロレーン」鐵鑛ノ製鍊ニハ獨、英ノ石炭ニ待タサルヘカラス、而シテ大戰前英國ノ佛、伊、獨ニ供給セシ三千萬噸ノ石炭ヲ佛蘭西ニ供給シ、又前記ノ如ク過剩ノ二三千万噸ノ獨逸ノ石炭ヲ更ニ佛蘭西ニ供給スルニ於テハ佛蘭西ハ四千八百萬噸ノ「ロレーン」鐵鑛ノ全部ヲ製鍊スルヲ得テ鐵一年產出額ハ千五百萬噸以上ニ達シ大鐵鋼國トナルニ至ルヘシ、然レトモ佛蘭西ハ大戰中其鐵鑛業ノ大部ヲ破壊セラレテ數年間ハ舊態ニ復スルコト困難ナルヘシト云ヒ、開戰前年ノ五百三十萬噸ノ鐵ヲ製出スルニハ新ニ大ナル製鐵事業ヲ開始セサルヘカラスシテ其業容易ナラサルヘシ、「ルクセムブルグ」及新領地タル「ロレーン」州ハ開戰前年ノ千九百十三年ニ六百四十萬噸、新ニ管理スヘキ「ザール」地方ハ百四十萬噸ノ鐵ヲ製出シタリ、此地方ハ戰場タラサリシヲ以テ其設備ハ完備スルナルヘク、石炭ノ供給アルニ於テハ前記ノ產出ヲ期待スルコトヲ得ヘシ、而シテ戰爭ノ結果佛蘭西ノ製鐵量ハ開戰前ノ半ノ二三百萬噸ニ減シタリト假定スレハ前

記ノ地方ノ所産ヲ加ヘテ年額千萬噸ニ達スヘク、隨テ獨逸ヨリ供給セラルヘキ石炭ヲ以テシテハ之ヲ製鍊スルコト困難ニシテ更ニ二千萬噸内外ノ石炭ヲ要スヘキナリ、而シテ此石炭ハ獨リ英、獨ニ於テ之ヲ供給スルヲ得ルノミ、若シ夫レ英、獨ニシテ之ヲ供給セサルニ於テハ鐵鑛ノ採掘ヲ制限スルカ、英、獨ニ之ヲ輸出製鍊スルノ外ナキナリ  
自耳義ハ獨逸ヨリ八百萬噸ノ石炭ノ供給ヲ受ケ、佛蘭西ヨリ鐵鑛ヲ輸入スルニ於テハ自國ノ石炭ト共ニ大戰前ト同シク能ク二百五十萬噸ノ鐵、鋼ヲ製出スルヲ得ヘシ、然レトモ其鐵鑛業ハ大戰中殆ント全滅ノ状態ニ陥リ、二百五十萬噸ノ鐵、鋼ヲ製出スルニハ新ニ製鐵事業ヲ開始セサルヘカラスシテ其業容易ナラス、隨テ大戰前同國ノ製鍊セル六七百萬噸ノ鐵鑛ノ半ハ數年間或ハ之ヲ要セサラン  
此ノ如ク佛蘭西ニシテ英國又ハ獨逸ヨリ更ニ二千萬噸ノ石炭ヲ得テ「ルクセムブルグ」ト共ニ一年千萬噸ノ鐵、鋼「ロレーン」鐵鑛地以外ノ鑛石ヨリ製鍊セラレタルモノヲ含ミ其量ハ百萬噸内外ナルヘシ」ヲ、白耳義



ニシテ開戦前ノ半額約百二三十萬噸ノ鐵、鋼ヲ製出シ、「ロレーン」鐵鑛年  
產出額四千八百萬噸ト假定セハ尙製鍊スヘキ鐵鑛千五百萬噸以上(千  
五百萬噸乃至千八百萬噸)アリ、此鐵鑛ハ何レニ於テ之ヲ製鍊スヘキヤ、  
獨逸ハ約三千五百萬噸ノ石炭ヲ佛、白、伊ニ供給スルモ大戰前和、白、佛ニ  
供給セル石炭及骸炭ヲ要セサルニ於テハ其設備ヨリ推測スルニ其事  
業ヲ擴張スレハ此鐵鑛ヲ製鍊スルヲ得ヘク、故ニ假リニ之ヲ獨逸ニ輸  
出製鍊スルニ於テハ大戰前ノ狀態ヨリ思考シ獨逸ハ輸入鑛石ト相待  
テ一年千萬噸以上ノ鐵、鋼ヲ製出スルニ至ルヘク、大戰前ニ及ハサル遠  
シト雖モ亦以テ大鐵鋼國タルナリ、更ニ千五百萬噸以上即チ合計三千  
萬噸以上ノ鐵鑛ヲ輸入製鍊スルニ於テハ更ニ鐵、鋼五百萬噸ヲ加ヘ略  
大戰前ノ狀態ニ復スヘシト雖モ、「ロレーン」、「ザール」、「ルクセムブルグ」地  
方ノ製鐵事業ヲ利用スルコトヲ得サルヲ以テ新ニ製鐵事業ヲ擴張セ  
サルヘカラスシテ其業容易ナラサルニ加ヘテ、一二千萬噸ノ石炭ノ不  
足ヲ致スヘク、之カ供給ハ之ヲ英國ニ仰クノ外ナシ、又佛蘭西所要ノ二

千萬噸ノ石炭ヲ供給シ千五百萬噸以上ノ鐵鑛ヲ輸入製鍊スルニ於テ  
モ一二千萬噸ノ石炭ノ不足ヲ生スヘク、獨逸ハ既ニ多大ノ石炭ヲ供給  
スルヲ以テ更ニ二千萬噸ヲ供給スルハ之ヲ難シトスルナルヘシ、獨逸  
ニシテ單ニ千五百萬噸以上ノ「ロレーン」鐵鑛ヲ輸入製鍊ストセハ千萬  
噸内外ノ石炭ハ尙之ヲ輸出スルヲ得ヘク、和蘭ニ大戰前ト同シク千萬  
噸ヲ供給セハ殆ント剩ストコロナシ、若シ千五百萬噸以上ノ鐵鑛ヲ製  
鍊セサルニ於テハ更ニ二三千萬噸ノ石炭ヲ輸出スルヲ得ヘク、佛、白、伊  
ニ供給スル三千五百萬噸ノ石炭ヲ加フレハ輸出總額五六千萬噸ニ達  
シ、世界ニ於ケル石炭市場ニ重要ナル位置ヲ占ムヘキナリ、又假リニ「ロ  
レーン」鐵鑛千五百萬噸以上又ハ三千萬噸以上ヲ英國ニ輸出シ、英國ハ  
大戰前佛、伊、獨ニ供給セル三千萬噸ノ石炭ニ更ニ一二千萬噸ヲ加ヘ之  
ヲ製鍊セハ同國ハ一年千五百萬噸以上又ハ二千萬噸以上ノ鐵鋼ヲ製  
出シ、歐羅巴第一ノ鐵鋼國タルヲ得ヘキモ、運搬上不利ナルモノアルノ  
ミナラス新ニ製鐵事業ヲ擴張セサルヘカラサルノ困難アリ、而シテ英

國ハ大戰前及大戰中多量ノ石炭ヲ佛蘭西ニ供給シタルヲ以テ前述ノ佛蘭西所要ノ二千萬噸ノ石炭ヲ同國ニ供給スルハ敢テ困難ナラサルヘク、其輸出貿易ニ影響スルトコロ大ナラサルヘキモ、之ト共ニ「ロレーン」鐵鑛約千五百萬噸以上ヲ輸入シ之ヲ製鍊スルカ又ハ佛蘭西ニ石炭ヲ供給スルコトナク三千萬噸以上ノ鐵鑛ヲ全部自國ニ輸入製鍊スルニ於テハ製鐵事業擴張等ノ困難ハ暫ク之ヲ措クモ石炭所要額ハ四五千萬噸ニ達シテ同國ノ石炭輸出額ハ約一億萬噸ヨリ五六千萬噸ニ激減スヘク、獨逸ハ佛、白、伊ニ供給スル石炭ヲ加ヘ輸出額五六千萬噸ニ達スヘキナリ

##### 五 「ロレーン」鐵鑛ト石炭トノ關係

講和後ノ佛蘭西ハ「ルクセムブルグ」ト共ニ其製鐵ノ設備ヨリ更ニ二千萬噸ノ石炭ノ供給ヲ得ハ千萬噸ノ鐵、鋼ヲ製出シ得ヘキモ(此外前記ノ如ク白耳義ニ於テ一年百二三十萬噸ノ鐵鋼ヲ製出スト假定ス)、千五百萬噸以上ノ鐵鑛バ之ヲ輸出スルカ、又ハ之カ採掘ヲ制限スルノ外ナク、

又二千萬噸ノ石炭ノ供給ヲ受クルヲ得サレハ三千萬噸以上ノ鐵鑛ハ之ヲ製鍊スルコト能ハサラン、獨逸ハ大戰前ニハ之ヲ製鍊シタルモ講和後ニ於テハ設備ヨリ見テ其半ノ千五百萬噸ヲ製鍊シ得ルニ止マルヘク、更ニ千五百萬噸以上ノ鐵鑛ヲ製鍊セハ殆ント大戰前ト同一ノ鐵鋼國ニ復スヘキモ、新ニ之ニ應スルノ製鐵事業ヲ開始セサルヘカラサルト共ニ石炭ニ於テ一二千萬噸ノ不足ヲ生シテ其業容易ナラス、英國ニ於テ之ヲ製鍊セハ英國ノ鐵產出額ハ五百萬噸又ハ千萬噸ヲ加ヘ千五百萬噸以上又ハ二千萬噸以上ニ激増シテ北米合衆國ニ次クニ至ルモ、之ニ要スル製鐵設備ハ新ニ之ヲ開始セサルヘカラスシテ其業容易ナラス、故ニ單ニ設備ヨリスレハ四千八百萬噸ノ鐵鑛ハ大部之ヲ佛、獨逸ニ於テ製鍊スルヲ利ナリトスルカ如ク、此ノ如キニ於テハ佛蘭西ノ製鐵事業ハ大ヲ致スト雖モ尙歐羅巴ニ於ケル第一位ノ鐵鋼國ハ大戰前ト同シク獨逸ニシテ英、佛之ニ次クノ狀態ニアルヘシ

石炭ニ就テ之ヲ見ルニ佛、獨逸ニ於ケル鐵、石炭ノ供給圓滿ナラスシテ全

ク英國ノ石炭ニヨリテ三千萬噸以上ノ鐵鑛ヲ英、佛兩國又ハ各其一國ニ於テ製鍊ストセハ、假リニ其設備ニ於テ可能ナリトスルモ英國ノ輸出石炭ニ影響スルコト稍大ニシテ、敢テ世界石炭市場ニ於ケル重要ナル位置ヲ喪失スルニアラサルモ「バンカー」ヲ加ヘ輸出石炭ハ約一億萬噸ヨリ五六千萬噸ニ激減スヘク、之ニ反シ獨逸ハ佛、白、伊ニ約三千五百萬噸ヲ供給スルモ尙二三千萬噸ノ石炭ヲ輸出スルコトヲ得テ世界ノ石炭市場ニ優秀ナル位置ヲ占ムルニ至ルヘシ、又獨逸ノ石炭ニヨリ之ヲ佛、獨又ハ各其一國ニ於テ製鍊スルニ於テハ一二千萬噸ノ石炭ノ不足ヲ致シ其不足ハ之ヲ英國ニ待ツノ外ナク、獨逸ニシテ其設備ニ應スル千五百萬噸ノ鐵鑛ヲ製鍊スルニ於テハ約千萬噸ノ石炭ハ之ヲ輸出スルヲ得ヘク、和蘭ニ大戰前ニ於ケルカ如ク約千萬噸ヲ供給セハ殆ント剩ストコロナシ、故ニ單ニ石炭ノ需給ヨリスレハ佛國所要ノ二千萬噸ハ之ヲ英國ヨリ供給シ、千五百萬噸ノ鐵鑛ハ之ヲ獨逸ニ於テ製鍊スルヲ利ナリトスルカ如ク、此ノ如キニ於テハ英國ハ石炭市場ニ於テ大

戰前ト同一ノ位置ヲ占メ、獨逸ノ輸出ハ大ナラス

以上ノ如キ狀態ニアルヲ以テ獨逸ハ鐵鑛ヲ輸入スルヲ有利ナリトス  
ヘク、英國ハ石炭ノ輸出ヲ便トスルカ如シ、然レトモ運搬並ニ經濟上諸  
般ノ事情ハ單一ナルコト能ハサルモノアルヘク、以上舉クルカ如ク鐵  
鑛及石炭ノ輸出入ノ圓滿ニ遂行セラル、ヤ否ヤヲ知ラス、實ニ英、佛、白  
獨ニ於ケル石炭及「ローレン」鐵鑛ハ甚タ密接ナル關係ヲ有シ、此等諸國  
ニ於ケル鑛業政策ハ甚タ重要ニシテ世界ニ於ケル鐵及石炭ノ供給ニ  
大ナル關係ヲ有シ、各國ニ於テ攻究スルトコロナルヲ信スルモノナリ、  
若シ夫レ鐵鑛ノ採掘ヲ制限スルカ或ハ英、佛、獨ニ於ケル鐵鑛及石炭ノ  
供給圓滿ナラサルコトアランカ鐵ノ產出額ハ甚タシク減少シ其鐵及  
石炭市場ニ及ホス影響大ナルモノアラン

## 結 論

大戰前ニ於テ世界ノ鑛工業及運輸交通ニ至大ノ關係ヲ有セシモノハ

米、英、獨ノ鐵及石炭ナリトス、米國ハ暫ク措テ問ハス、英國ノ鐵及石炭鑛業ハ大戰中其產出額ニ於テ多少ノ増減アリシニ止マリ、其鑛產地ハ講和前及講和後ニ於テ些ノ變動アラス、獨逸ニ至リテハ卽チ否ラス、大戰中ハ佛、露ノ領域ニ侵入シテ鐵鑛及石炭ヲ採掘シタリ、講和後製鐵原料タル鐵鑛ノ三分二ノ埋藏量ト一年二千百萬噸ノ產出額並ニ石炭ノ約二分一ノ埋藏量ト一年五千六百萬噸ノ產出額トヲ失ヒタルモ尙鐵鑛十二億萬噸、鐵五億萬噸ノ埋藏量ト一年七百萬噸ノ鐵鑛產出額並ニ石炭ノ二千四百八億萬噸ノ埋藏量ト一年一億三千萬噸ノ瀝青炭產出額トヲ有シ世界ニ於ケル大鐵鑛國及大石炭國タリ、而シテ其鐵鑛業ニ至リテハ特ニ喪失セルトコロ少ナカラスシテ其喪失セル「ロレーン」鐵鑛ノ將來何レニ於テ何レノ石炭ニヨリ製鍊セラル、ヤハ英、獨ノ石炭ニ密接ノ關係ヲ有スヘク、世界ニ於ケル鐵及石炭市場ニ大ナル影響ヲ及ホスヘキヲ想フモノナリ

獨逸ニ殘存セル鐵及石炭ノ埋藏量ハ前述ノ如ク英國ニ優レリ、其產出

額ハ同國ニ及ハスト雖モ人心ノ調和、努力ノ如何ニヨリ之ヲ増加セシムルコト難カラサルヘク、又鐵鑛國タル瑞典トノ關係良好ナルヘキヲ以テ將來同國ヨリ良好ナル多量ノ鐵鑛ヲ輸入スルナルヘシ  
波蘭ハ鐵及石炭ノ埋藏量ニ於テ豐富ニシテ、殊ニ石炭ニ於テハ獨、英ニ匹敵スルニ足リ、中央歐羅巴ニ冠タリ、露、奧、白等ニ於ケル鐵及石炭ノ產出額ハ米、英、獨ニ比シ大ナリト稱スヘキニアラサリシモ各地方ノ需要ニ應シタリ、若シ夫レ此等鑛業ニシテ衰頽スルニ於テハ之ヲ補給スルコト容易ナラサルヘシ

佛蘭西ノ鐵及石炭鑛業ハ露、奧等ノ諸國ト甚タシキ差違ナカリシモ、獨逸「ロレーン」州ヲ收メテ鐵鑛ノ產出額ハ「ルクセムブルグ」ト共ニ急ニ四千八百萬噸ニ激增スヘク、大戰前鐵鑛輸出國ニシテ石炭輸入國タリシ同國ハ自國產ノ石炭ニヨリ此多大ノ鐵鑛ヲ製鍊スルコト能ハサルナリ、假令獨逸ヨリ規定ノ石炭ノ供給ヲ受クルモ自國及「ルクセムブルグ」並ニ新ニ併合及管理ニ屬セル「ローレン」、「ザール」地方ノ製鐵能力タル約



千萬噸ノ鐵、鋼ヲ製出スルニハ更ニ二千萬噸内外ノ石炭ヲ要スヘク、此石炭ハ之ヲ英、獨ヨリ供給ヲ受クルノ外ナシ、而シテ白耳義ハ大戰中ニ其製鐵事業殆ント全滅シ之カ恢復容易ナラサルヘク、其產出額ニ於テ或ハ半減スルナラン、此狀態ニ於テハ「ロレーン」鐵鑛年產出額四千八百萬噸中ノ千五百萬噸以上ノ鐵鑛ハ或ハ之カ採掘ヲ制限スルカ、或ハ更ニ二千餘萬噸ノ石炭ヲ輸入シテ之ヲ製鍊スルカ、或ハ之ヲ英、獨ニ輸出シテ製鍊スルノ外ナカルヘシ、實ニ「ロレーン」鐵鑛製鍊ノ問題ハ英、獨ノ石炭ニ密接ノ關係ヲ有シ、四五千萬噸ノ石炭ハ英、獨何レヨリ之ヲ供給シ三千萬噸以上ノ鐵鑛ハ英、佛、獨ノ何レニ於テ製鍊セラルヘキヤ、實ニ石炭ノ供給如何ニヨリテ英、獨ノ石炭ノ輸出ニ消長ヲ生スルト共ニ鐵鑛ノ供給及製鍊地ノ如何ニヨリテ英、佛、獨ニ於ケル鐵、鋼ノ產出ニ増減ヲ致シ、隨テ世界ニ於ケル鐵及石炭市場ニ影響スルコトノ大ナルヲ信スルモノナリ

大戰前鐵及石炭ノ三大產出國タル米、英、獨ハ世界ニ於ケル其總產出額

ノ八割内外ヲ占メタリ、而シテ其一國タル獨逸ハ豐富ナル鐵鑛地ト炭田トヲ喪失スルニ至リタルヲ以テ其鐵及石炭鑛業ニ及ホスヘキ影響ノ大ナル知ルヘキナリ、北米合衆國ハ大戰中鐵產出額三千萬噸ヨリ四千萬噸ニ激増シタリ、若シ夫レ佛蘭西ニ於テ或ハ「ロレーン」鐵鑛ノ採掘ヲ制限シテ其產出額減少スルカ、或ハ英、佛、獨等ニ於ケル鐵鑛及石炭ノ供給圓滿ナラスシテ其產出額減少スルニ於テハ、開戰前年ノ千九百十三年ニ世界ノ總產出額ノ約五分二、大戰中三分二ヲ產出セル北米合衆國ハ世界ノ總產出額ノ三分二以上ヲ產出スルニ至リテ世界ニ於ケル鐵市場ニ更ニ優秀ナル位置ヲ占ムルニ至リ、世界各國ニ同國ノ鐵ヲ見サルナキニ至ルヘシ、實ニ「ロレーン」鐵鑛製鍊ノ問題ハ獨リ歐羅巴ノミナラス世界ニ於ケル鐵及石炭市場ニ關係ヲ有スルモノニシテ各國ニ於テ銳意研究スルトコロナルヘシ

以上舉クルトコロハ各國ニ於テ大戰前ト同一ノ狀態ニ復歸スト假定シ立論シタルモノナリ、若シ夫レ現時見ルカ如ク同盟罷業、怠業等諸般

ノ障害ニヨリ産出額ノ減少スルコトアランカ、各國ノ鐵鑛及石炭ノ供給圓滿ナラサルヘク、隨テ以上擧クルトコロニ依リ之ヲ律スルコト能ハサルヘシ

附 「アルサス」州ノ佛蘭西ノ領域ニ入レル結果、獨逸ノ加里工業獨占ニ重大ナル關係ヲ有スルモノアリ、千九百四年「アルサス」州「ミュール」ハウゼン「附近」ニ於テ加里ノ鑛床發見セラレ爾來試錐ニヨリ其量ノ甚タ豊富ナルコトヲ確認シタリ、其埋藏量ハ實ニ加里十四億七千二百餘萬噸、純「ポタシウム」二億萬噸ト稱セラレ、獨逸「スタスフルト」ニ於ケルヨリ多大ナリト唱ヘラル、其未タ發達スルニ至ラサリシ所以ハ斯業家ノ價格ノ下落ヲ恐レテ之カ發達ヲ促進セサリシ結果ナリト云フ、今ヤ佛蘭西ノ領域ニ入ル、或ハ近キ將來ニ於テ本鑛業ハ大ニ發達シテ獨逸ト競争スルニ至ルコトアラン、此外「アルサス」州ニハ岩鹽、石油等アリテ地方ノ需要ニ應スヘク甚タ重要ナルモ其量ハ敢テ多大ナラスト云フ

附錄第一表 千九百十三年獨逸ニ於ケル鐵鑛ノ製鍊(單位千噸)

産出地	製			鍊			計
	ウエストフアリア	ザール	ロレーン	ルクセムブルグ	其他ノ地方	其他ノ地方	
ロレーン	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、二、〇〇〇	三、〇〇〇	—	—	二一、〇〇〇
ルクセムブルグ	五〇〇	三〇〇	三〇〇	四、四〇〇	—	—	五、五〇〇
其他ノ地方	三、六〇〇	二〇〇	—	—	二、七〇〇	—	六、五〇〇
計	七、一〇〇	三、五〇〇	一、二、三〇〇	七、四〇〇	二、七〇〇	—	三三、〇〇〇
輸入	—	—	—	—	—	—	—
佛ロレーン	一、〇〇〇	五〇〇	六〇〇	一、二〇〇	—	—	三、三〇〇
其他ノ佛蘭西	五〇〇	—	—	—	—	—	五〇〇
アルジェリア及チユニス	六〇〇	—	—	—	—	—	六〇〇
瑞典、諾威	三、七〇〇	—	—	—	一、二〇〇	—	四、八〇〇

西班牙	三、一〇〇	—	—	—	—	—
葡萄牙	一、五〇〇	—	—	—	—	—
其他諸國	—	—	—	—	—	—
計	一〇、四〇〇	五〇〇	六〇〇	一、二〇〇	一、三〇〇	一四、〇〇〇
總計	一七、五〇〇	四、〇〇〇	一二、九〇〇	八、六〇〇	四、〇〇〇	四七、〇〇〇

輸入鐵鑛ハ總額ノ約三割ヲ占ム其品位ハ自國產ノ鐵鑛ヨリ概ネ良好ナルヲ以テ鐵ニ於テハ約四割ニ該當ス、故ニ將來瑞典及西班牙ヨリ鐵鑛ヲ輸入シ得ルヤ否ヤハ獨逸ノ鐵鑛業ニ影響スルコト大ナルモノアリ

第二表 英獨米ニ於ケル鐵鑛ノ產出額

年別	英 (單位噸)		獨 (單位噸)		米 (單位噸)	
	銑	鋼	銑	鋼	銑	鋼
千九百十三年	二〇、四八、九七	七、七七、六四	一九、三〇、〇〇	一八、九五八、八九	三、四八、四六	三、八三、五五
千九百十四年	九、〇〇、八九	七、九八、四三	一四、三九、五七	一五、六九、七九	三、七二、二五	三、九〇、九四

千九百十五年	八、七九三、零九九	八、六八七、六〇〇	二、七九〇、九九	一三、三三七、四六六	三〇、四四、八七	三、六六、八七
	英	鋼	銑	鋼	銑	鋼
千九百十六年	九、一九一、八三三	九、三三二、二六	三、二八四、七三八	一六、一八三、五〇〇	四〇、〇七、〇六	四三、四四、一〇六
	英	鋼	銑	鋼	銑	鋼
千九百十七年	九、五九七、七八	九、九九六、四五六	一三、一四二、〇〇〇	一六、五九七、〇〇〇	三九、三三、七三	四三、七七、四九九
	英	鋼	銑	鋼	銑	鋼
千九百十八年	九、三〇、四九九	九、六九六、九六六	一、五九〇、〇〇〇	一四、八七四、〇〇〇	二九、六三、九六	四三、七九、六六〇
	英	鋼	銑	鋼	銑	鋼

千九百十三年	月	銑	鋼	銑	鋼	銑	鋼
	別	英	(單位千噸)	獨	(單位千噸)	米	(單位千噸)
一箇月平均	八七三	六四九	一、六〇八	一、五八〇	二、六二四	二、六五二	
	銑	鋼	銑	鋼	銑	鋼	
千九百十九年	六六四	七一八	四九九	五五九	三、三〇六	三、六九八	
	銑	鋼	銑	鋼	銑	鋼	
二	六二五	七三四	四六九	五一六	二、九四〇	三、二一九	
	銑	鋼	銑	鋼	銑	鋼	

三	月	六八四	七五六	五五二	六三五	三、〇九〇	三、一六八
四	月	六五三	六六八	四三四	四二八	二、四七八	二、六六五
五	月	六六二	七五五	五一七	五九四	二、一〇八	二、二九六
六	月	六一二	六三一	五一九	六三一	二、一五	二、六四一
七	月	六六〇	六一八	五七二	七八五	二、四二九	二、九八五
八	月	五二一	四七四	五六一	七二九	二、七四三	三、二六九
九	月	五七四	七一八	五二四	七二六	二、四八八	
十	月	四四五	四三三			一、八六四	
十一	月	六三〇	六九三			二、三九二	

一 昨年即チ千九百十八年ノ休戦ニ至ルマテハ産出額ニ於テ大ナル差違ナカリシモ十一月ヨリ獨逸ノ産出額ハ半額以下ニ激減シテ十一月ニハ五十一萬六千五百七十噸、十二月ニハ四十三萬四百七十八噸トナリ、昨千九百十九年ニ於ケル産出額ハ前記ノ如シ、是レ蓋

シ「ロレーン」及「ザール」地方ハ固ヨリ「ルクセムブルグ」ノ產出額ヲ除外セルニ依ル、又同年ニハ各國ニ於テ同盟罷業等ノ爲メ產出額減少シ大戦中著シク増大シタル北米合衆國ノ產出額モ大戦前年ノ三千萬噸内外ニ減少セントス



大正九年六月八日印刷  
大正九年六月十一日發行

# 著作權所有

# 農 商 務 省

印刷者 吾妻菊三郎  
東京市神田區通新石町三番地

印刷所 陽堂  
東京市神田區通新石町三番地  
資社會

發賣所 東陽堂  
東京市神田區通新石町三番地  
資社會

電話 神田九二九番  
振替口座東京二三四三六番